

# 実習における携帯電話を活用した授業の実践

兵庫県立兵庫工業高等学校  
デザイン科 大賀涼子

現在、高校生の携帯電話所持率は90%を超えている。さらに、電話やメール機能の使用だけでなく、携帯からインターネットなどに接続することで様々な社会的問題が起こっている。それらのコンテンツを排他的に捉えるのではなく、授業へ活用することで効果的な生徒へのアプローチを考えた。Web上では情報伝達のための多様なコンテンツが用意されており、様々な取組みに繋がった。試行段階ではあるが、新しい学習の形として発展するテーマになるだろう。

## 1. 情報発信ツール

携帯電話のメリットとしては「①手軽に②リアルタイムで③情報の発信・受信が可能」という点があげられる。本校では修学旅行の際に、携帯電話で投稿できる「修学旅行情報Blog」を立ち上げている。飛行機・バスの移動や到着の報告、プログラムの実施状況、天気・食事などを、現地職員が画像を添付しながら更新していく。保護者からは「随時報告があり、ブログを見ていると子供の様子がよくわかる」と評価が高い。コミュニケーションの為に用意されている携帯電話の機能が有効利用できている例である。

携帯電話の即効性・双方向性のある発信技術は、学校の情報公開において有効な手段になる。

昨今プライバシーの問題から、学校での連絡網が廃止されているが、緊急時には情報の伝達が難しい。そこで、携帯電話で見ることができる学校のホームページに、保護者や生徒がアクセスして連絡を知る事ができるシステムを用意した。携帯電話を使った、新しい連絡網の形として利用できる。実際に豚インフルエンザによる臨時休校の際に活用する事ができた。



兵庫県立兵庫工業高等学校・修学旅行 Blog

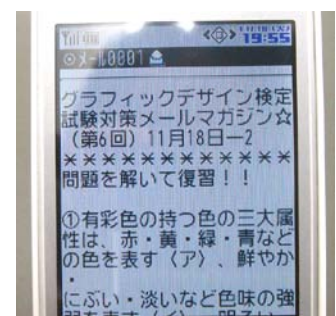
## 2. 学習の習慣

資格試験の勉強は、過去の試験問題の繰り返し学習が有効であるが、最近の高校生は地道に勉強していく姿勢が低い。そこで、毎日持ち歩き、手軽に見ている携帯電話を利用できないかと考えた。問題をメールマガジンで配信し、通学などのわずかな時間に学習できるシステムを用意する事で、学習への意欲を持たせる。

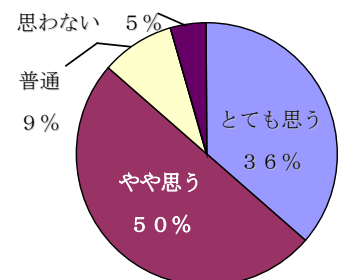
検定に対しての取組みを試験的に行った。生徒が登録するのに手間がかからないメールマガジンの形式で、週3回（月水木）配信を続けた。内容は、朝に5~6問の用語の解説、夕方に小テスト形式の問題を送信し復習ができるようにした。

取組みの中で実施したアンケートによると、「検定の勉強に役立つか？」という設問に対して、80%以上が肯定的な意見を持っており、生徒に受け入れられる手段だったといえる。

配信方法・内容については今後も生徒の意見を聞きながら検討していく。本格的に導入するにはシステムなどの問題が多いが、他の教科や検定試験にも有効なコンテンツとして利用できる。



資格取得メールマガジン



検定の勉強に役立つか

### 3. 考えを発信する授業

デザインにおいて「見る」とは情報を集める事であり、表現の幅を広げるためにも必要である。街には多くの情報が氾濫しているが、日常で意図的に目を向けることは少ない。

そこで、デザインのサンプルを集める方法として「街角デザイン掲示板」というコンテンツを立ち上げた。

電子掲示板は、レンタルサイトより条件に合った掲示板を設定した。夏休みの課題として「街にある広告デザインのサンプルを集める」という趣旨と、掲示板の利用方法について説明を行った。2学期に課題のまとめとして、プロジェクターで掲示板を映し出し、投稿された画像についての説明を生徒に発表させた。皆がどのようなサンプルに注目したかをきっかけに、広告デザインについての授業を発展させた。

携帯電話を使った狙いは、まず課題に興味を持たせるという事があった。しかし生徒はそれ以上に「デザインに目を向ける視点」に気付いたと分析する。普段持ち歩いている携帯電話の写真機能を使う事がポイントとなった。街へ出た際に意識的に課題のデザインを探すようになる。そして、掲示板の形式は他の生徒が投稿したサンプルを見る事ができ、同じものを見た時に発見を共有することができた。携帯電話を利用した課題は、デザインを「見る」「発見する」ためのきっかけを与えた。

生徒の感想では、「課題があったことで色々看板を探した」「提出の方法が楽だった、その場で送信できるのは便利だった」など、好印象な反応が多く見られた。さらに、自分の発見したデザインという事で、看板やポスターの工夫についての考察がよくできていた。色使いや文字の大きさなど授業で学習した内容を再認識しており、こちらが予想したよりも反響が大きかった。それまでの課題は「作業をして終わる」ことが多かった。しかし課題の内容を「自分が発信する→他の人と共有する」という事で、課題からの続きを感じさせ、意見に幅を持たせたと考える。

### 4. 展望

携帯電話を使った学習方法や課題を通して、新しい情報発信の方向が見つかったといえる。

「見る力を育てる」「学習習慣をつける」といった明確な目的を設定した上で、『道具』として携帯電話の利用を考える事により、教える側にも生徒にも大きな力に結びつける事ができた。

現在、社会問題となっているブログや掲示板の利用に関しては、正しい目的が把握できないまま、悪い例ばかりが提示されているのも影響の一因であると考えられる。本来のコミュニケーションの形に触れさせる事で、間接的ではあるがモラルを学ぶきっかけにしていきたい。

学校という公共の立場から「正しい形」の情報発信を行っていくのも、教育の一環になるのではないだろうか。



街角デザイン掲示板



投稿されたショーウィンドウのサンプル



発表の様子